

セーラー服の女の子
さくらさくら



セーラー服の脱ぎ方
さくらもも子



FATE / STAY NIGHT FAN BOOK



士「セイバー、最近太ったんじゃないか？」

セ「そんな事は無いと思うが…」

士「よいしょ（スカートをめくる）」

セ「なにをするのだ士郎！！」

士「こはん好きだからって食べすぎだな…」

士「セイバー言いにくいが、お尻大きいよ」

セ「……………」



「士郎…私も魔力が足りないの★」

自分の部屋に呼び出された士郎は愕然！

セイバーばかりに興味を示す士郎に

日々不満が溜まっていた凛。

なぜ凛の魔力が足りないのか、なぜ足りないと

自分のところに来るのかさっぱりわからない士郎。

だがシースルーのふりふりと編々オーバーコート

が士郎に眩暈を起こさせる…

どうする？どうなる？？士郎！！



Rin

=====
士「はぁ～本当に今日は暑いねセイバー」

「昨日プレゼントした下着セット
気に入ってくれた??」

「判るよね…?」

セ「……………ん…」

セイバーは小さく頷き、
ゆっくりとシャツを脱ぎ僕に
「早く…」と目で訴えていた…多分、
いや絶対そうに違いない!

士即はそう確信した。
今日という夏の夜は酷く蒸じた。

=====





涼の家に呼ばれたので来てみたのだが、
どうやらアイツ体調崩して休んでるらしい。

敷地内にプールがあったのでセイバーを
呼んでこんがりさんになってもらった。

肌がどれくらい焼けたか確かめたかったので
ゆっくり水着を剥いてみた。

セ「主即もうこれくらいにしないと人が来るのでは…」

ゆっくり馴染めつけてセイバーを困らせてしまった。

ごめんなセイバー…

凛「魔力を使いきってしまった…」

凛はそう言った先からずってんと

転倒してしまった。

凛「いったーい！」

凛「汚れてないわよね??土郎！」

土郎「……ないよ。…汚れてないよ」

そう答えるのが精一杯だった。





今日はネットで注文していた
とびきり可愛い服が到着した。
いつもと違う服に当惑していたセイバーも
やっぱり可愛い物は好きな様で
段々笑顔が見えてきた...
真っ白な服に似合った真っ白なバンティーが
真っ直ぐ目に入ってきた...

セ「ここは何なのだ土郎？」

土「ピックサイトのコスプレ広場と言って、

漢達が着飾った女の子の写真を撮ったりするんだ」

セ「そうなのか...だから私の様な甲冑の子もいるのだな」

土「そう。ここではばんつを見せるのが決まりなんだ」

セ「.....いや.....それは」

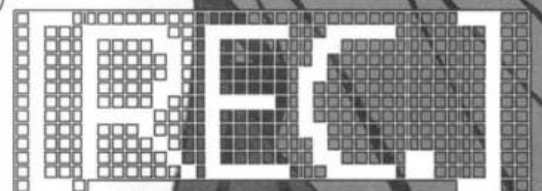
土「ばんつを見せるのが決まりなんだ」

聊ずかしそうにスカートをたくし上げてみせるセイバー。

沢山のカメラが一斉にレンズの照準を向けた。

カメラ達に視察され、半永久的にオナベツトにされる

セイバーを見て、俺は言い様の無い優越感に浸った。





セ「このポーズで良いのかな？」

士「そうだな…」

そう言って眺める為の椅子を取りに行ったら


不意に開け放たれた窓から風が吹き込む。

スカートがめくれあがった！

何て幸運だ！！

ついニヤニヤしてしまった。

気まずい空気が流れてしまった…



このポーズをさせるのには
苦労した。

セ「私をなんだと思っているのだ!!」

士「大好きなセイバーだからお願い
してるんだけどな…」

セ「す……!?か…からかうな……」

士「セイバーお願いだよ…」

セ「…むむ……………仕方ない…」

泉とした彼女が恥じらいながらとる

複雑なポーズはさながら

「堕天使」を連想させた。



セ「旧車の髪がこんなに暑いとはな…」

士「シャツ空けたら？」

シャツのボタンをはずすセイバー。

士「ぼんっ見たいな☆」

セ「…士郎は本当にしょうがないマスターだな」


士「ドラスもんかよ」

セ「ドラ??ん?まあ良い…これでいいか？」

キレイなぼんっでした^^ (士



ゆっくり目を覚ますとセイバーが
着替えていた。
さくらんぼの可愛い下着セットだ。
彼女が珍しく自分で選んだ物で、
よほど気に入っていると見える。
薄暗い中でシルクの白いパンティが
ぼうっと目に映った…
セ「土郎！…起きていたのか！！」
もうちょっと眺めていたかったな…。



セ「今日もばんつを見たいのか？」
セイバーが駄々を捏ねて来たので
鏡の前で無理やりパンストを剥いで
ばんつを見せてやった。
怒ろうかどうしようか
焦って困っている様子だったが、
結局されるがままに身を預けてきた。
体がフワフワで柔らかかった。
やっぱりセイバーは可愛い。



お尻を見せて買った時に
太っている事を知らされてしまって
セイバーはダイエットを始めた。
でも顔の中はやっぱりごはんの事ばかり。
俺はむちむちのセイバーでも
いっこうに構わないよ^^

あとがき

ども、桜幸（さくらさち）です★
サークル名& PN 変えました。
今回はセイバーさん& 凛の
おばんつほんです！
日焼けセイバーまで色塗れて
なんか幸せです。
本当にセイバーが大好きな
もんで。
士郎とのラヴラヴ具合が
上手く皆さんに伝われば
良いな〜と思って
頑張ってみました。
ばんつの車なのでばんつの
塗りも気合い入っています。
夏暑いけど
暑そうなセイバーさんが
描けたのでそれなりに
満足出来ました。
ほんじゃ〜また〜

SpThanx

Type-Rさん（ペン入れ数ページ& 寄稿）

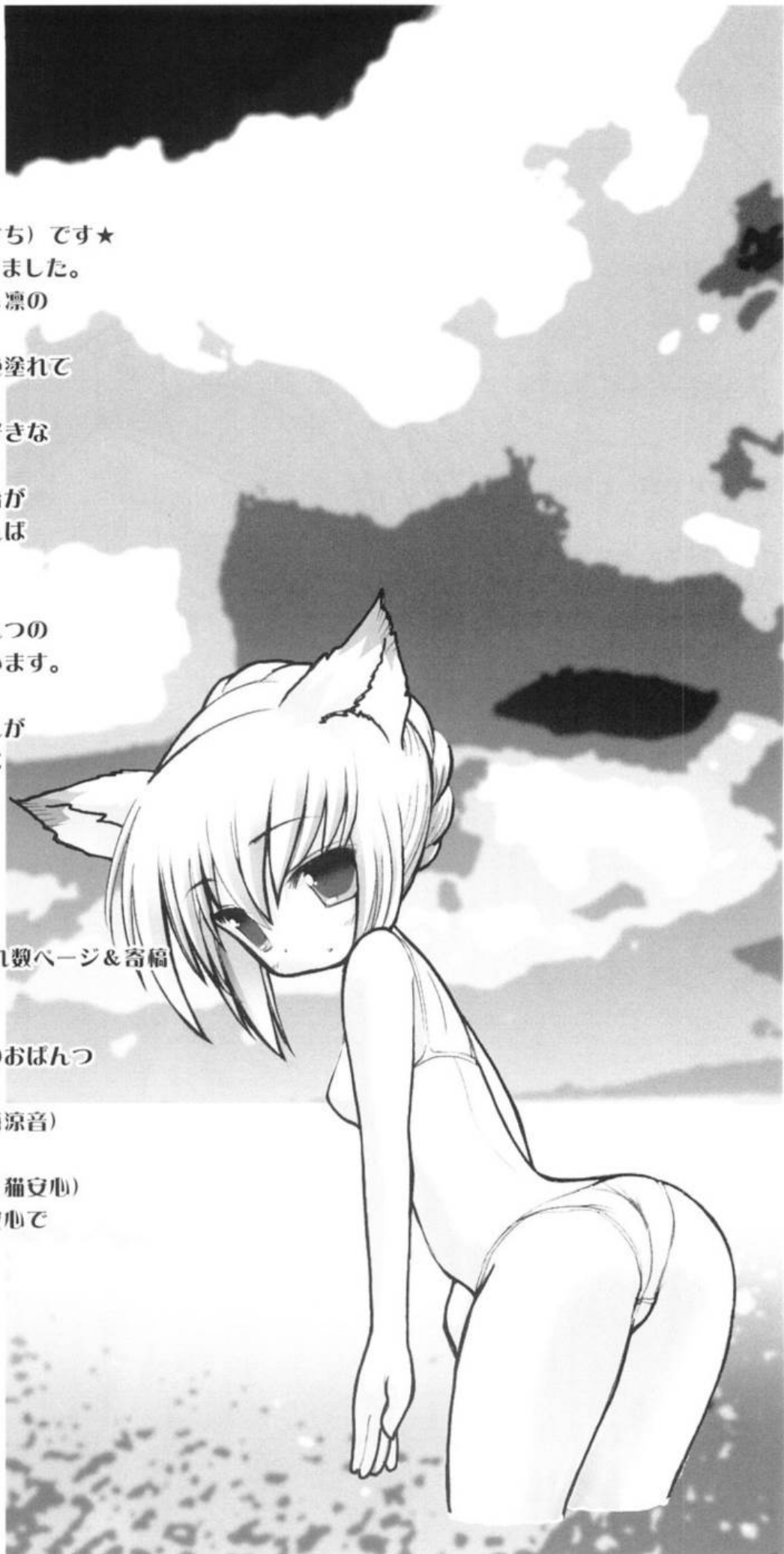
誌名：セイバーさんのおばんつ

作者：桜幸（旧：深海涼音）

サークル：桜餅（旧：猫安心）
今回のコミケまで猫安心で
取っています。

印刷 POPLSさん

発行 2005/8/14



セイヤク→セムシヤク
セクセク